

暮らし守れ 増税は市民生活を圧迫

増税は市民生活を圧迫

日本共産党京田辺市議会議員団
(塩貝 建夫 議員)

や負担増は市民生活を少なからず圧迫していることを認識しているが、その救済措置を講ずることは考えていない。
②一休寺の景観保全策を市が責任をもって早急に取り組むべき。
市長 1万4千余名の署名をそえて一休寺裏山の景観保全要望が出されたことを真摯に受けとめ、一休寺をはじめ周辺土地所有者、開発事業者との話し合いを継続するなかで、開発と保全の取り組みについて、府の指導も仰ぎながら検討していく。私自身も当事者とも話をしながら取り組んでい

きたい。
③子どもの医療費助成を、通院も小学校卒業まで無料に。
市長 今年9月から府の制度改正にもない、入院分医療費の助成を小学生まで広げる。通院分医療費助成の市の独自措置は当面、拡大する考えはない。
④同和行政の完全終結を。「解同」などへの不公正な特別扱いはやめるべき。
市長 「山連」は、他人権啓発協議会、就労促進協議会との再編のため解散する。「解同」への補助金は廃止、多額の

①庶民増税、負担増から暮らしを守る対策を。市長 市民の生活の実感から見れば依然として厳しい実態にある。増税

⑤児童保育の対象を小学校6年まで拡大を。保育時間の延長を。
市長 今年4月から4年生まで引き上げた。現在のところさらに引き上げる考えはない。保育時間延長は、指導員確保の

⑥国保税の引き下げと一部負担金免除制度の充実を。
市長 本市の国保事業は非常に厳しい財政状況であり国保税引き下げ、一部負担金免除の拡充は考えていない。



住民税の負担増を掲載した新聞記事

高齢者向けの公園を 健康遊具の導入を検討

健康遊具の導入を検討

公明党
(櫻井 立志 議員)

①安全・安心に暮らせるまちづくりについて、救急救命体制の整備において、AEDの公共施設への配置は。
市長 3カ年で36カ所への配備をする。本年度は市庁舎、中・北部住民センター、常磐苑、宝生苑など12カ所。次年度は全小・中学校に12カ所設置。3年目には幼稚園、保育所に配備していく。
②市民の健康づくりと

して、がん検診についての考えは。また、市民検診の中に前立腺がん検診を入れる考えは。府は、実施の自治体に対して助成をしているがどうか。
市長 がん検診については、市として積極的に対応していきたい。だが前立腺がん検診については、国の指針及び府の動向を注視し、今後研究していきたい。
③京田辺市環境基本計



介護予防のための健康遊具がある田辺公園

画について。③3R活動の進捗状況は。④グリーン購入については。⑤環

また、本市に適した環境マネジメントシステム導入に向けての研修会を実施したい。
④少子高齢化がますます進む中、市民が憩うことができると公園整備について、高齢者向け介護予防の健康遊具を、本年度予定の都市公園整備計画の中に導入の考えは。また、今後の公園整備計画や既存の街区公園についてはどうか。
市長 これから建設する予定の街区公園には介護遊具にも資する健康遊具などの導入を計画している。既存の公園についても利用者のニーズも勘案しながら導入が可能なところについては検討していきたい。

近隣諸国との交流は 市民交流の促進を支援

市民交流の促進を支援

民主党議員団
(米澤 修司 議員)

①近隣諸国の都市との姉妹都市提携や青少年の交流の促進は。
市長 厳しい情勢の下での姉妹都市提携は考えていない。国際交流協会との連携など市民レベルの交流を支援。スポーツ交流は今後の課題。児童生徒の絵画や手紙の交換、留学生の学校訪問の受け入れ等相互理解を深める取り組みを進める。

②温暖化対策として太陽光発電の公共施設への設置。市民への助成は。
市長 太陽光発電は常磐苑、宝生苑、中部住民センター、リサイクルプラザに設置。今後公共施設での設置、市民への助成措置は費用対効果を含め慎重に検討する。
③廃食油で「んぶら油」の回収について。
市長 今のところ廃食

油の回収は考えていない。燃料化についての情報収集と先進自治体の利用状況について研究していく。
④障がい者の自立・就業支援は。
市長 情報共同作業所アイ・コラボレーションが設置され障がい者がIT関連の知識、技術を習得し就職されている。市内で開設予定のケアホームでは、就労機能備えた事業も予定している。
⑤市役所で年金相談窓口の開設は出来ないか。
市長 国民年金に関する相談は対応している。厚生年金等の書類は保有していないので特別の相談窓口の設置は考えていない。相談先を案内するチラシの配布や回覧を行う予定をしている。
⑥多重債務者に対する対応について。
市長 行政として把握しにくい。生活困窮等で相談を受けた場合には法律相談とか市民相談室を案内している。
⑦民間委託や指定管理者制度導入の判断基準は。
市長 コストと民間技術の活用、公共性や安全性の担保、サービスの低下につながるのかなど総合的に判断する。



国際交流協会総会でのウイグル人による民族舞踊

補正予算の主な内容(一般会計)

一般会計(補正額) 5億5,000万円

(総務費)	
○全国大学まちづくりフォーラム開催費	50万円
○市制10周年記念事業費	910万円
○一般コミュニティ助成事業補助	1,680万円
(民生費)	
○ケアホーム等施設整備補助	4,180万円
○乳幼児医療費助成拡充経費	841万円
○河原保育所一時保育経費	660万円
(衛生費)	
○甘南備園バグフィルターろ布交換	5,006万円
(農林水産業費)	
○共同利用施設等整備補助	274万円
○農業農村活性化経営体づくり補助	913万円
○農地・水・環境保全対策交付金	220万円
営農活動支援のため、各地域協議会に交付金を交付するもの。	
(商工費)	
○商工業振興費	240万円
一休さんカード加盟店の拡大支援、空き店舗対策、キララフェスティバル開催への支援。	
○産業系総合情報サイト構築事業	21万円
○松井山手駅前観光案内板設置費	150万円
(土木費)	
○南田辺三山木駅前線整備事業	7,800万円
○三山木区画整理公園整備事業	9,170万円
(消防費)	
○住宅建築物耐震化促進計画策定費	500万円
○高度救急処理シミュレーター機器	200万円
○公共施設AED設置費	96万円
(教育費)	
○京の夢未来体験活動推進事業	89万円
児童生徒が、豊かな人間性を育むため、地域社会で体験活動や職場体験等を行うもの。	
○田辺中学校周辺整備調査等	1,000万円
○社会体育協会育成補助	190万円